

令和7年度  
事業報告

# 第1号議案

## 1. 令和7年度事業報告

### 1.1 議事・顕彰・講演会・親睦

#### 1.1.1 総会

##### (1) 第83回定時総会

令和7年5月23日(金) 13:00～13:30

於：明治記念館 1階「末広の間」

出席者構成総数 66社

本人出席 32社

委任状 21社

出席率 80%

①第1号議案 令和6年度事業報告及び決算報告承認の件

②第2号議案 令和7年度事業計画案及び予算案審議の件

③第3号議案 役員選任の件

##### (2) 第50回試験機事業功労者表彰式

令和7年5月23日(金) 14:00～14:30

於：明治記念館 千歳の間(東館1階)

受賞者：10社 17名

試験機事業功労表彰者(敬称略・五十音順)

石川	雅一	エミック株式会社
今井	秀樹	株式会社東京衡機試験機
小野沢	正利	株式会社東京衡機試験機
荻田	麻衣子	株式会社島津製作所
小池	政利	スガ試験機株式会社
小林	宏彰	エスペック株式会社
櫻井	茂美	株式会社いすゞ製作所
清水	智	株式会社島津アクセス
霜田	孝之	株式会社東洋精機製作所
新保	伊一郎	株式会社島津製作所
杉本	誠司	エミック株式会社
関根	政之	株式会社昭和測器
孝田	博則	株式会社前川試験機製作所
辻本	桂二	エスペック株式会社
野崎	千恵子	株式会社東京衡機試験機
南	嵩志	スガ試験機株式会社
安田	有作	株式会社島津アクセス

##### (3) 講演会

令和7年5月23日(金) 14:40～16:10

於：明治記念館 1F「芙蓉の間」

講師：世耕 石弘 氏：学校法人近畿大学 経営戦略本部長

タイトル：「知と汗と涙の近大流コミュニケーション戦略」

近畿大学の広報は戦略的なPR活動とメディア戦略を常に意識しており、「入れ替え

なきリーグ戦」の中で、旧態依然とした大学界の常識にとらわれない広報を展開している。2023年度のリリース配信本数は636本。紙の願書を廃止した「近大エコ出願」や世界初のクロマグロ完全養殖など、SNSで拡散したくなるようなクリエイティブを投入。これまでの事例を中心に、近大流のコミュニケーション戦略について講演いただいた。

#### (4) 定例懇親会

令和7年5月23日(金) 16:30～18:30

於：明治記念館 1F 「末広の間」

参加者数：87名(会員84名 講演会講師1名、経産省1名、顧問1名) 事務局2名除く

#### 1.1.2 令和7年度新年賀詞交歓会

開催日：令和8年1月16日(金) 15:30～17:30

於：フォレストテラス明治神宮 2階「櫺の間」

参加者：78名(会員73名、経産省1名、取引先2名、招待者2名) 事務局2名除く

### 1.2 組織と人事

#### 1.2.1 役員(敬称略・名簿順)

(令和7年5月23日 第82回定時総会で確認)

会長	石田 雅昭	エスベック(株) 顧問
副会長	小嶋 淳平	IMV(株) 代表取締役社長
	野村 篤史	新東科学(株) 代表取締役社長
専務理事	富士原正義	(一社)日本試験機工業会
理事	関川 博	(株)いすゞ製作所 代表取締役社長
	森 淳	インストロン ジャパン カンパニーリミテッド 材料試験機部門 営業部 技術顧問
	内田 慎哉	(株)大西熱学 技術顧問
	川崎 健史	(株)島津製作所 分析計測事業部 試験機ビジネスユニット ビジネスユニット長
	名取 悦二	スガ試験機(株) 常務取締役
	太田 好則	(株)東洋精機製作所 代表取締役社長
	小塚英一郎	(株)東京衡機試験機 代表取締役会長 兼 社長
	前川徳太郎	(株)前川試験機製作所 代表取締役社長
	山口 誉晃	(株)ミットヨ グローバルマーケティング本部 商品販売戦略部 形状・試験機営業推進課 課長
監事	井下 芳雄	エミック(株) 技術顧問
	尾崎 達也	(株)井谷衡機製作所 取締役会長
相談役	岡崎 由雄	(株)東京衡機 特別顧問

#### 1.2.2 委員会委員長

令和7年5月23日

企画委員会

小嶋 淳平 IMV(株) 代表取締役社長

総務委員会

上野 正男 (株)東京衡機試験機 取締役 戦略推進担当

材料試験技術委員会

松本 大 (株)フューチャアテック 取締役国内営業部長  
兼 営業技術部長

環境装置技術委員会 田中 浩和 エスベック(株) 事業開発部 部長  
展示会・セミナー委員会 野村 篤史 新東科学(株) 代表取締役社長  
広報委員会 川崎 健史 (株)島津製作所 分析計測事業部  
試験機ビジネスユニット ビジネスユニット長

## 1.2.3 会員状況

### (1) 入会

エクサーチ株式会社(第Ⅱ類正会員)  
令和7年10月1日(第375回理事会承認)

### (2) 退会

株式会社仲井精機製作所

定款第8条 除名及び会員資格の喪失 2項(3)当該会員が解散したとき

### (3) 令和8年5月22日現在の会員状況

第Ⅰ類正会員 49社  
第Ⅱ類正会員 17社  
賛助会員 6社 計72社

## 1.3 委員会・分科会事業報告

### 1.3.1 企画委員会

#### (1) 第36回企画委員会を開催

4月10日(木)場所:日試工会議室(出席6名 欠席1名)

主に活動計画について議論された。

- ①クラウドネットワーク研究会継続
- ②施設見学会の検討(JARI,核融合科学研究所等)
- ③委員長の交代 小嶋委員長より森委員長への交代(第373回理事会で報告済み)
- ④令和8年度の欧州視察に向け計画の立案

#### (2) クラウドネットワーク研究会

・第3回 クラウドネットワーク研究会を8月21日(木)で開催済み  
アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社、クラスメソッド株式会、北海道ガス株式会社から事例紹介の発表があった。3回の研究会開催でクラウドネットワークについて研究会参加者に一定の周知ができたので今回をもって終了となった。

#### (3) 施設見学会の実施

- ・自然科学研究機構 核融合科学研究所 事前下見「大型ヘリカル装置(LHD)」:ヘリカル型
- ・世界の主流となり得る核融合炉ITER:トカマク型 那珂フュージョン科学技術研究所を8月27日下見実施  
⇒那珂フュージョン科学技術研究所11月14日(金)に20名参加で実施した。先方との意見交換では参加者(会員)から積極的な質問が出た。核融合に対する関心度の高さが伺えとても有意義な見学会となった。

#### (4) 工業会の今後のあるべき姿を考察する。

- ・参加者を応募し数名あつましたが、委員会は開催に至らなかった。次年度へ継続する。

#### (5) 海外視察調査検討会

- ・検討会できなかった次年度へ継続する。

(6) 出版本の販売状況(現場で役立つ材料試験 環境試験)

- ・発行日：令和6年3月27日(水)
- ・発行部数：1,200部
- ・販売冊数[2026年3月末現在](日試工：693冊、市場販売：168冊)計861冊

### 1.3.2 総務委員会

(1) 第83回定時総会の開催(定時総会資料の作成)

令和7年5月23日(金) 場所：明治記念館

- ・定時総会：総会参加者55名(議決権：32名、委任状：21名、計53)
- ・試験機事業功労者表彰式：功労者17名(出席者71名)
- ・記念講演：講師 学校法人 近畿大学 経営戦略 本部長 世耕 石弘 氏  
出席者83名
- ・定例懇親会：出席者88名

(2) 令和7年度 賀詞交歓会開催

令和8年1月16日(金) 場所：フォレストテラス明治神宮 2階「櫻の間」

(3) 日本試験機工業会会員の年間市場情報の収集と集計(2024年の販売額は前年8.2%増加)

(4) 予算管理・会計報告

(5) 研修会の開催

- ・第10回ヒューマンスキルセミナー〈ビジネス基本スキル向上研修〉の開催11月11日(月)11社43名で開催した。これから社会人としての経験を高めていく社員の皆さまを対象とした「ビジネス基本スキル向上研修」をテーマとして実施した。研修会後の懇親会では早速研修会の成果なのか各参加者と積極的にコミュニケーションズを図る姿が見受けられた。近年の懇親会風景として一番の交流が図れていたように感じた。

### 1.3.3 材料試験技術委員会

(1) 材料試験技術委員会

- ・第75回材料試験技術委員会を開催した日時：6月13日(金)14:00～16:00  
場所：日試工会議室 - 各分科会からの報告事項
- ・第76回材料試験技術委員会を開催予定日時：9月11日(木)12:30～14:30  
場所：東京ビックサイトで実施。
- ・第77回材料試験技術委員会を開催した日時：12月15日(月)14:30～17:00  
場所：日試工会議室 - 各分科会からの報告事項
- ・第78回材料試験技術委員会を開催予定日：2026年3月13日(金)

(2) 広報誌「TEST」材料試験分野執筆

- ・75号「硬さ試験のISO規格一部改正について」執筆(規格情報)
- ・77号「プラスチック強度評価試験機における自動化システム(AGX-V2.FA.PT/PBシリーズ)のご紹介」執筆(規格情報)

(3) TEST展での基礎セミナーの講師担当:各分科会から講師を派遣

- ・白井 俊昭 氏 (株)東洋精機製作所
- ・北田 暢也 氏 新東科学(株)

(4) 校正分科会

- ・第規格の改正準備：特に動きなし
- ・ISO TC164/SC1 WG4 国際会議へ参加(パリ)：川崎 健史 氏 (株)島津製作所、

眞弓 高明 氏 (株)島津アクセスを派遣した。

- ・ 広報誌「TEST」引張・圧縮試験分野の執筆
- ・ 75号「様々な水素環境下におけるSSRT試験法による材料物性評価」(連載)について執筆
- ・ TEST展での基礎セミナーの講師担当：福田 武彦 氏 (株)島津製作所 実施(2) 硬さ試験分科会

#### (5) 硬さ試験分科会

- ・ 分科会の開催(4月3日、5月28日、7月7日、9月22日、10月28日、12月5日)  
主にJIS B 7726「ロックウェル硬さ試験 - 試験機の検証及び校正」及びJIS B 7730「ロックウェル硬さ試験機 - 基準片の校正」の改正作業を実施した。また、本委員会を3回開催(6月4日、9月29日、11月17日及び書面審議実施)し成果物の提出については11月末から1月末へ延期し、1月30日納品した。
- ・ ISO TC164/SC3国際会議へ参加(パリ)：松本委員長を派遣した。
- ・ 広報誌「TEST」硬さ試験分野の執筆：
- ・ 硬さ標準トレーサビリティ研究会との連携：研究会(6月5日)を開催
- ・ 第25回力学量標準トレーサビリティ・ワークショップでの発表：八木橋 伸佳 氏 (一財)日本品質保証機構
- ・ TEST展での基礎セミナーの講師担当：松本 大 氏 (株)フューチャテック

#### (6) 疲れ・靱性試験分科会

- ・ JIS B 7755(金属材料のシャルピーVノッチ衝撃試験-計装化シャルピー衝撃試験機)21月20日改正発行された。
- ・ ISO/TC164への対応：岩永 幸満 氏 (株)島津製作所日本代表でJSAから派遣された。
- ・ JIS Z 2242「金属材料のシャルピー衝撃試験方法」の改正：動きなし
- ・ シャルピー衝撃試験機調査WGの活動継続：活動なし
- ・ TEST展での基礎セミナーの講師担当：堀川 純 氏 (株)島津製作所、平畝 英司 氏 (株)米倉製作所
- ・ 広報誌「TEST」疲れ・靱性試験分野の執筆：76号「JIS Z 2274 金属材料の回転曲げ疲労試験法の改正」(連載)について執筆

#### (7) 校正分科会

- ・ 第23回校正分科会開催2月17日(火)今年度開催した技能試験、硬さ区分：ロックウェル硬さJTM-H015、JTM-H016のレビューを実施した。
  - JIS Q 17043(適合性評価-技能試験に対する一般要求事項)の改正に伴い品質マニュアル及び品質方針の改訂作業を開始した。
  - 2026年度開催予定の技能試験力区分：一軸試験機JTM-F006について検討し概略スケジュールを決定した。
- ・ ロックウェル硬さ試験機の校正に係わる試験所間比較による技能試験を実施
  - JTM-H015、JTM-H016：技能試験技術委員会を設置し4月16日(水)開催
  - JTM-H015は6/30~8/8で実施済み 参加者4事業所
  - JTM-H016は8/18~9/12で実施済み 参加者16事業所
  - 報告書を技能試験技術委員会に取りまとめ2月末までには参加者へ送付
- ・ 第25回力学量標準トレーサビリティ・ワークショップの開催
  - 開催日：2025年6月6日(金) 会場：秋葉原UDX(東京)
  - 過去最高の208名の参加者
- ・ TEST展での基礎セミナーの講師担当：中野 隆 氏 (有)大和精機

- ・独立行政法人 製品評価技術基盤機構 (NITE) 及び国立研究開発法人産業技術総合研究所との情報交換については各委員会及び分科会で適宜意見項を実施した。
- ・広報誌「TEST」への投稿：77号「クリープ試験機の校正に関する規格要求事項の概要」(連載) について執筆

### 1.34 環境装置技術委員会

- ・環境装置技術委員会：令和7年度環境装置技術委員会開催について
  - －第1回 日時：6月20日(金) 13:30～17:00 場所：日試工会議室
  - －第2回 日時：9月11日(木) 14:00～16:30 場所：東京ビックサイト
  - －第3回 日時：12月5日(金) 13:30～17:00 場所：日試工会議室
  - －第4回 日時：3月5日(木) 3:30～17:00 場所：日試工会議室

#### (1) 機械環境分科会

- ・分科会の開催(5月28日、9月4日、10月30日、2月13日)
  - － JIS規格見直し調査の件 (JIS B 7758:2016)
  - － ISO TC108関連報告 (ISO 5344:2004)
  - － 振動、衝撃に関する日常の取扱注意事項に関するマニュアルの作成については、検討の結果、作成しない判断となりました
  - － ISO TC108/SC 6 「機械振動と衝撃」の国際規格提案への対応
- ・IEC/TC104(環境条件とその分類及び試験方法専門委員会) 国内委員会及びJIS素案作成委員会への参加
- ・広報誌「TEST」への投稿
- ・TEST展での基礎セミナーの講師担当：井下 芳雄 氏 エミック(株)、川口 和晃 氏 神栄テクノロジー(株)

#### (2) 気象環境分科会

- ・分科会の開催(4月24日、7月11日、9月26日、12月19日、3月6日)
  - － JTM及び環境装置技術委員会活動の報告
  - － TC104国内委員会/JIS素案委員会の活動状況報告
  - － JTM K08改正対応
  - － 「2025年度 J I S の見直し調査、調査票」について
- ・広報誌「TEST」への投稿
  - － TEST75号「環境試験機における湿度制御」について執筆
- ・TEST展での基礎セミナーの講師担当：小寺 弘一 氏 エスペック(株)

#### (3) 腐食環境分科会

- ・広報誌「TEST」への投稿
  - － TEST77号「腐食試験について」執筆
- ・TEST展での基礎セミナーの講師担当：設楽 正弘 氏 板橋理化工業(株)

#### (4) 耐候(光)性分科会

- ・広報誌「TEST」への投稿
  - － TEST76号「机上型耐光性試験機の開発 均一な紫外域と超省エネ化」について執筆
- ・TEST展での基礎セミナーの講師担当：山田 佳枝 氏 スガ試験機(株)

### 1.35 展示会・セミナー委員会

- ・第18回総合試験機器展「TEST 2025」の開催  
会期：令和7年9月10日～12日

会場：東京ビックサイト 西ホール

(1.4.1項 委員会活動報告詳細を参照)

### 1.3.6 広報委員会

#### (1) 広報誌分科会

- ・ 広報誌「TEST」の発行(4回) Vol.75～Vol.78の編集及び発行
  - － TEST75特集：「自動運転実現のためには ～気象環境とEMC～」を発行
  - － TEST76特集：「SDGs 実現のための金属材料リサイクル」を発行
  - － TEST77特集：「身近な乗り物およびその素材の信頼性評価」をTEST展初日に発行
  - － TEST78特集：「リサイクルプラスチックの評価」を発行
- ・ 試験所見学会実施 令和7年10月17日(金)山形県工業技術センターを見学

#### (2) ホームページ分科会

ホームページの定期的な見直しとタイムリーな更新による各種情報の掲載  
役員名簿／会員一覧／規格一覧表／イベントページ／技術委員会情報(活動計画・議事録・技術資料)の掲載／その他

### 1.3.7 時限立法特別対応

- (1) 平成28年7月1日に施行された「中小企業等経営強化法」の「経営力向上設備等に関する税制措置制」のうち中小企業経営強化税制(A類型)を経済産業省の要請に対応し実施している。「中小企業経営強化税制(A類型)」は証明書の様式が変更になりました。

・ 令和7年4月1日～令和9年3月31日まで適用期限が2年間延長されました。

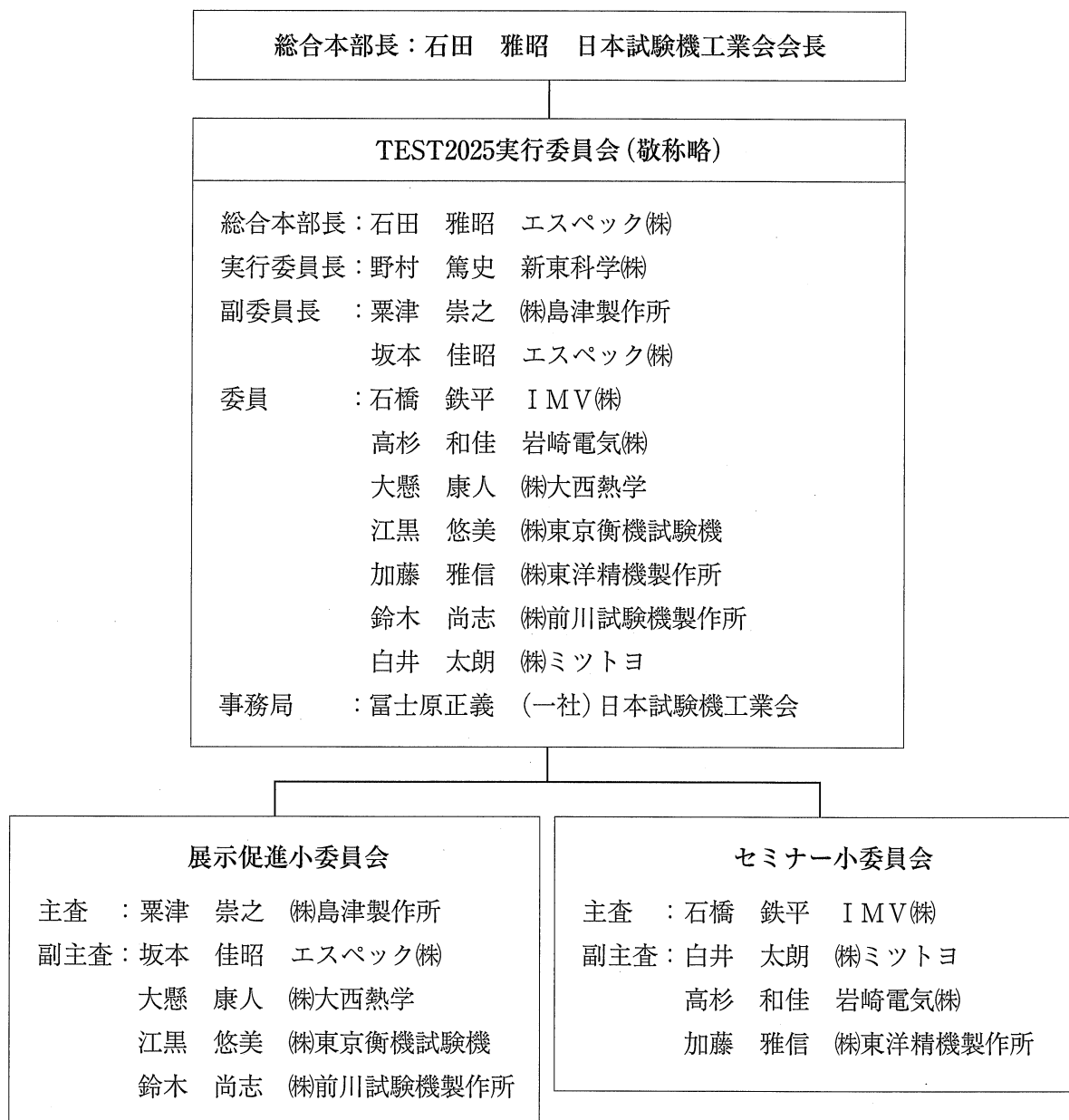
#### (2) 実績

- ・ 設備の種類：器具・備品
- ・ 設備の用途：試験・測定
- ・ 期間(器具備品)：(1) 令和5年4月1日～令和7年3月31日
- ・ 発行手数料：日本試験機工業会会員(1件につき1,000円)  
非会員(1件につき4,000円)
- ・ 発行実績：(平成29年4月1日～令和8年3月31日) 1,139件
- ・ 発行実績：(令和7年4月1日～令和8年3月31日) 57件

## 1.4 委員会活動報告詳細

### 1.4.1 第18回総合試験機器展「TEST2025」

#### 実行委員会



第18回総合試験機器展「TEST 2025」の開催

テーマ：未来につなぐ試験と計測 “見せる信頼 — 確かな品質”

会 期：令和7年9月10日(水)～12日(金)

会 場：東京ビックサイト 西ホール

- ・展示規模( )内は前回規模  
企業団体：61(60) 小間数：99(97)
- ・TEST展来場者数：9,027(8,667) 前年比4.2%増加
- ・同時開催展示会から見学者を誘引でき、前年比以上に出演者ブースは盛況であった。
- ・新企画(校正ガイダンスなど)が好評であった。
- ・今回も基礎セミナーについては、多くの講演が満席となった。

## 1.5 カトラーサビリティ連絡会議及び硬さ標準トラーサビリティ研究会関連

### (1) カトラーサビリティ連絡会議

- ・連絡会議の開催 開催日令和7年6月27日(金)
- ・一軸試験機及びJIS B 7721に準じる力計技術委員会開催(8月1日、10月31日、1月30日、3月19日)
- ・力標準技術委員会開催(8月1日、10月31日、1月30日、3月19日)

### (2) 硬さ標準トラーサビリティ研究会開催(6月5日、10月20日、2月26日)

### (3) 第25回力学量標準トラーサビリティ・ワークショップ

開催日：令和7年6月6日

開催場所：秋葉原UDXギャラリー

参加者：208名(前回京都市：178名)

セッション1：実行委員会第24回アンケート集計報告

一般財団法人日本海事協会 近藤 克実 氏

セッション2：硬さ ロックウェル硬さ用圧子および標準片のA2LA校正について

一般財団法人日本品質保証機構 八木橋 伸佳 氏

セッション3：引張・圧縮試験機 一軸試験機に関するJISと国際規格の比較及び、市場動向

～JIS B 7721(ISO 7500-1)とASTM E4の比較及び、ISO7500-2の概要説明～

株式会社東京衡機試験機 川本 隆之 氏

特別講演：金属材料の高温力学特性評価 国立大学法人東京大学大学院

新領域創成科学研究科 教授 御手洗 容子 氏

セッション4：トルク 量子電気標準に基づいた次世代トルク標準の開発

国立研究開発法人産業技術総合研究所 計量標準総合センター 工学計

測標準研究部門 カトルク標準研究グループ研究グループ長 西野 敦洋 氏

セッション5：質量 日本薬局方改正に関する校正事業者としての活動(JCSS認定質量分野)

徳山計量器株式会社 水戸 竜司 氏

セッション6：力 力計校正証明書の校正範囲から僅かに外れた点を内挿校正式を用いて推定する場合の考え方(1)

カトラーサビリティ連絡会議力標準技術委員会 一般財団法人日本海事協会  
近藤 克実 氏